

第70回全国高等学校通信制教育研究会総会並びに研究協議会愛媛大会 教育長祝辞

平成30年6月14日（木）  
ひめぎんホール

第70回全国高等学校通信制教育研究会総会並びに研究協議会愛媛大会の開催を、心からお祝い申し上げます。また、本日、通信制教育に携わっておられる全国の皆様の御出席を得て、本会が、ここ愛媛の地で、このように盛大に開催されますことを、大変ありがたく存じます。

全国高等学校通信制教育研究会の関係者の皆様におかれましては、長年にわたり、通信制教育の充実、発展を通じて、有為な人材の育成に努めておられますことに対し、心から敬意を表する次第でございます。

さて、高等学校における通信制教育は、定時制教育とともに、「教育の機会均等」の理念のもと、長年にわたって、働きながら学ぶ青少年に対して広く学習の機会を提供してまいりました。しかしながら、近年、産業構造や社会情勢の急激な変化に伴い、在籍する生徒の学習歴や入学動機の多様化が進行する中で、従来の役割に加え、不登校傾向にあったり、修学への目的意識が希薄になったりした生徒の学び直しの場としての役割や、過去に高校教育を受ける機会に恵まれなかった方たち、学び直しをしたいと考えている方たちなどへの、生涯学習の場としての役割も担ってきております。

本県教育委員会といたしましても、通信制課程を設置しております松山東高校において、平成24年度から、前期と後期に入学者選抜を実施することにより、学び直しを希望する生徒のニーズに対応をしているところです。

昨年度発行の「高等学校通信制教育70周年記念誌」において、先ほど御挨拶いただきました全国高等学校通信制教育研究会 賀澤 恵二 会長様が、通信制教育宣言の中の、「高等学校通信制は、多様な教育方法を実践する中で、生徒の成長の手ごたえを十分に感じながら、それを励みとして教育活動を展開できるすばらしい教育の場です。」という言葉を取り上げられ、「この思いが、通信制高校で働く全ての教育関係者が抱く『教員冥利』に尽きるものである。」と述べておられます。生徒の成長を手助けすることにやりがいを持ち、通信制教育を支えていただいている方々の強い思いが伝わってまいります。

本日、お集まりの皆様方も、きっと同じ思いを持たれて、日々教育活動に励んでいただいていることと思いますが、どうか、皆様方には、その思いを更に充実した取組につなげるためにも、今日からの2日間、通信制教育の一層の振興・発展に向けて十分に研究を深められ、実り多い大会にさせていただきますようお願い申し上げます。

昨年、本県は、「愛顔つなぐえひめ国体」「全国障害者スポーツ大会」を開催し、本県イメージアップキャラクターのゆるきゃら「みきゃん」とともに、選手をお迎えし、訪れた多くの方々に「えひめらしさ」を感じていただきました。松山は、日本最古といわれる道後温泉や松山城、近代俳句の祖 正岡子規の記念博物館など、多くの名所・旧跡があり、「いで湯と文学のまち」として知られております。また、瀬戸内しまなみ海道を中心として、県全体でサイクリング・パラダイスを目指す「愛媛マルゴト自転車道」作戦を推進しており、更に最近では、四国4県を巻き込こんだ「四国一周サイクリング」にも取り組んでおりますので、ぜひこの機会に愛媛の歴史や文化、自然に触れていただければ幸いに存じます。

終わりにになりましたが、本総会並びに研究協議会のますますの御発展と、御参会の皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。